

日本ユネスコ国内委員会活動報告 (教育関連)

本報告は、平成25年2月から平成25年8月までの活動を中心に記述しています。
また、密接に関連するものについては、日本ユネスコ国内委員会以外の活動も記述しています。

ESD (持続可能な開発のための教育) の推進 ～2014年「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」 に向けて～

日本ユネスコ国内委員会では、平成26年(2014年)11月4～12日に愛知県名古屋市、岡山市で開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」に向けて、その準備をユネスコ、開催地自治体、関係省庁等と協力して進めています。

また、国内におけるESDの推進に力を入れ、様々な事業や広報活動を行っています。さらに、ESDの推進拠点であるユネスコスクールについても、加盟校数の増加や質の保証に積極的に取り組んでいます。

ESD(「持続可能な開発のための教育」とは・・・)

ESDとは、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育む教育です。

現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことで、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、それによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

2014年「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の開催に向けて

DESD 最終年会合タスクフォース・国際ステアリンググループ(ISG)会合

平成25年4月23～24日及び平成25年7月25日に第5回、第6回のDESD最終年会合タスクフォースがユネスコ本部において開催されました。文部科学省から岩本渉国際交渉分析官他が出席しました。会議では、2014年「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の会議の成果、出席者、プログラム、今後のスケジュールなどの会議準備の詳細についてユネスコと議論し、可能な事項は合意する一方、今後検討が必要な事項は次回以降の会議で再度話し合うこととしました。

また、平成25年7月23～24日に第3回国際ステアリンググループ(ISG)会合がユネスコ本部において開催されました。

この会合は世界各国の12人のESD専門家で構成され、世界中の様々な地域及び分野のニーズが世界会議に反映されるようアドバイスする役割を果たしています。日本からは、佐藤禎一日本ユネスコ国内委員会副会長が出席して、会議の成果、2015年以降のグローバルアクションプログラム、ワークショップの成果等について議論が行われました。今後、ユネスコが会合での意見をグローバルアク



ションプログラム等への反映について更に検討することになりました。

国際ステアリンググループ(ISG)会合に先立ち、日本ユネスコ国内委員会の「第5回国連ESDの10年最終年会合に向けたワーキンググループ」を開催し、ESD ユネスコ世界会議の成果等について議論しました。

開催地自治体(愛知県名古屋市、岡山市)の支援実行委員会等

「ESD に関するユネスコ世界会議」の閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合が行われる愛知県名古屋市では、平成25年3月25日に「第3回ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会」が開催され、文部科学省から岩本渉国際交渉分析官が出席しました。会議では、同支援実行委員会事務局が作成した「開催支援計画(案)」等について議論されました。

また、ステークホルダーの主たる会合が開催される岡山市では、平成25年4月25日に「ESDに関するユネスコ世界会議岡山支援実行委員会第2回委員会」が開催され、文部科学省から岩本渉国際交渉分析官が出席しました。同支援実行委員会が作成する「岡山開催支援計画の策定」等について議論されました。また、5月13日には「ユネスコスクール世界大会岡山運営協議会第3回委員会」が岡山市内で開催され、文部科学省からは本村宏明国際統括官補佐が出席し、ユネスコスクール世界大会の現在の準備状況等について情報交換が行われました。

今後もこのような会議を通して、開催地自治体と確実に情報共有を図り、世界会議の成功に向け連携していく予定です。

「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の開催日程・会場、ロゴマーク、ウェブサイト及びESDスローガンの周知

平成25年6月18日付けで各都道府県・指定都市教育委員会、各都道府県知事、附属学校を置く各国立大学法人学長宛に、(1)平成25年4月のDESD最終年会合タスクフォースにて決定した「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」の開催日程と会場、(2)同世界会議のロゴマークとウェブサイト、(3)ESDスローガンについて通知し、域内の市町村教育委員会、所管の学校その他教育機関等への周知を依頼しました。

(1)「ESDに関するユネスコ世界会議」開催日程及び会場

ア 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合

日程:2014(平成26)年11月10日(月)から12日(水)まで

11月13日(木)フォローアップ会合

会場:名古屋国際会議場(愛知県名古屋市)

イ ステークホルダーの主たる会合

ユネスコスクール世界大会

日程:2014(平成26)年11月6日(木)から8日(土)まで

会場:ホテルグランヴィア岡山(岡山県岡山市)

国立大学法人岡山大学(岡山県岡山市)

ユース・コンファレンス

日程:2014(平成26)年11月7日(金)

会場:岡山国際交流センター(岡山県岡山市)

持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議

日程:2014(平成26)年11月4日(火)から7日(金)まで

会場:岡山コンベンションセンター(岡山県岡山市)

(2) ESD に関するユネスコ世界会議のロゴマークとウェブサイト

世界会議のロゴマーク

ユネスコと日本政府は、ロゴマーク使用ガイドラインに沿った事業(世界会議への役割を明確に説明でき、実施する事業が世界会議の目的に合致していること等)を行い、ロゴマーク使用を希望するパートナー(団体・企業等)のためにロゴマークを策定しました。



世界会議のウェブサイト

ユネスコは、平成 25 年 8 月 8 日(木)に世界会議のウェブサイト(日本語、英語、仏語、西語)を開設しました。世界会議の情報に加え、ESD のサクセスストーリー、2015 年以降の ESD に係る動きについて掲載しています。

<http://www.unesco.org/new/jp/unesco-world-conference-on-esd-2014/> (日本語)

<http://www.unesco.org/new/en/unesco-world-conference-on-esd-2014/> (英語)



日本語



英語

(3) ESD スローガン

ESD は自分に関係あるもの」という意識を啓発するため、「ESD スローガン」を策定しました。

ESD スローガン:「あなたの毎日が、未来になる」

趣旨 自分たち一人一人が毎日身近なところから行動を起こすことが、持続可能な地球の未来につながる。

ユネスコスクール世界大会(Student(高校生)フォーラム及び教員フォーラム)の国内参加チームの決定

平成 26 年 11 月 6~8 日に、「『ESD に関するユネスコ世界会議』ステークホルダーの主たる会合」の一つとして「ユネスコスクール世界大会」を開催することになっています。このユネスコスクール世界大会の「Student(高校生)フォーラム」及び「教員フォーラム」への参加チーム(教員 1 名、高校生 4 名で構成)について、平成 25 年 6 月 28 日~7 月 31 日まで募集を行い、21 チームの応募があり、全国 7 地域からそれぞれ 1 チームを選定しました。

選定された7チーム

区分	地域	チーム名	都道府県
1	北海道	市立札幌大通高等学校	北海道
2	東北	県立安達高等学校	福島県
3	関東	県立佐倉南高等学校()	千葉県
		県立千葉東高等学校()	
		市川学園市川高等学校()	
		渋谷教育学園幕張高等学校()	
4	中部	県立豊田東高等学校	愛知県
5	近畿	京都外大西高等学校	京都府
6	中国	高水学園高水高等学校	山口県
7	四国・九州	県立城南高等学校()	福岡県
		県立武蔵台高等学校()	

複数の学校が1チームを構成する混合チーム

ESD オフィシャルサポーター

平成24年10月、2014年「ESDに関するユネスコ世界会議」に向け、広く一般にESDを普及・促進することを目的とし、様々な分野で活躍する以下6名の方々に「ESD オフィシャルサポーター」を組織しました。今後、それぞれの活動の中でESDを広めていただく予定です。

さかなクン(魚類学者、イラストレーター)
 平野啓子(語り部、かたりすと)
 木佐彩子(フリーアナウンサー)
 白井貴子(シンガーソングライター)
 服部貴之(作曲家)
 日比野克彦(アーティスト)
 日本ユネスコ国内委員会広報大使

直近では、平成25年8月7日、文部科学省主催「子ども霞が関見学デー」におけるイベントとして、さかなクン、木佐彩子さん、白井貴子さんの3名に御参加いただき「ESDトークショー」を開催しました。

「ESDトークショー」では、オフィシャルサポーターの方々の得意分野を活かし、木佐さんによる絵本「ねつでやすんでるきみへ」の読み聞かせ、白井さんのリードによる「めだかの学校」、「マッカチ・カニカニ音頭」を歌い踊り、さかなクンによる「お魚クイズ」があり、子どもたちにESDを分かりやすく伝えていただきました。



政府インターネットテレビ「徳光 & 木佐の知りたいニッポン！」でPR

平成 25 年 6 月 20 日、政府インターネットテレビ「徳光 & 木佐の知りたいニッポン！」(注)において、ESD が取り上げられました。

当番組では、江東区立八名川小学校における外部講師による環境授業、気仙沼市立階上中学校における防災教育に関する取材、また、ESD オフィシャルサポーターであるさかなクン、同じくオフィシャルサポーターでもあり当番組の司会を務める木佐彩子さんからのメッセージがあり、ESD について分かりやすく説明しています。

(注) 「徳光 & 木佐の知りたいニッポン！」

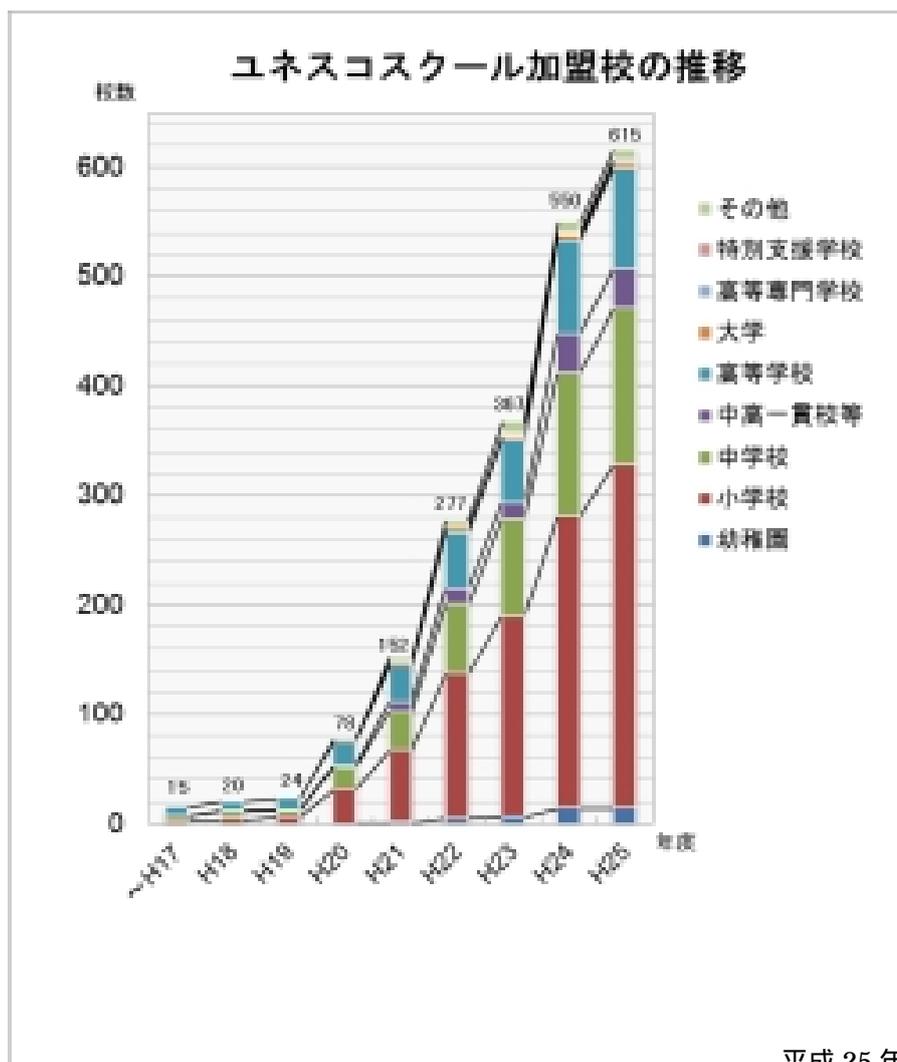
政府の重要施策を有識者のコメントと取材映像とともに分かりやすく解説する 20 分の情報番組。
司会: 徳光和夫、木佐彩子、スタジオゲスト: 宮城教育大学 見上学長



ユネスコスクールへの取組

加盟校数の増加

ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を实践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続発展教育(ESD)の推進拠点として位置づけています。平成25年6月現在、世界181ヶ国の国・地域で9,633校のユネスコスクールがあり、日本国内の加盟校数は平成25年7月時点で615校となりました。「国連持続可能な開発のための教育の10年(DES D)」が始まった2005年から飛躍的に増加しています。



平成25年7月10日現在

	幼稚園	小学校	中学校	中高一貫校等	高等学校	大学	高等専門学校	特別支援学校	その他
~ H17		3	4		8				
H18		5	6	1	8				
H19		6	6	1	10	1			
H20	1	30	20	2	21	3			1
H21	2	65	35	9	33	4			4
H22	5	132	63	15	51	4			7
H23	6	183	89	15	57	4	1	2	10
H24	14	267	130	36	86	5	1	2	9
H25	14	314	142	36	92	5	1	2	9
								総計	615

ESD に関するネットワーク作り

ESD 日米教員交流プログラム

日米教育委員会では、ESDを共通のテーマとし、日米の相互教員交流を通じて、意見交換、共同研究を行うことにより、日米の教育交流及びESDの推進を図ることを目的としたプログラムを平成22年より実施しています。

本プログラムでは、日米の教員が相手国を2週間程度訪問し、相手国の文化・教育に関する講義、学校・ESD 関連施設訪問、ホームステイなどを行った後、日米合同の会議において、その後の共同プロジェクトについて議論します。合同会議は、日本人教員の渡米時及び米国人教員の来日時を計2回開催され、両国の参加教員全員と過去の参加者の一部が一堂に会し、ESD に関する講義や事例発表、グループディスカッションなどを行います。両国の参加教員全員が会合する場が2回設定されているだけでなく、これまでの参加者とのつながりも持てる点が特徴的なプログラムです。

また、参加後には、それぞれの教育現場でESDカリキュラムの導入、共同プログラムの実施、教員ネットワークの構築などの交流が図られています。これまでに延べ286名の日米の教員が参加しました。 <http://www.fulbright.jp/esd/project.html>



平成25年度のプログラムは以下の通り実施されました。

日本人教員渡米(24名)

日時:平成25年4月19日~5月3日(合同会議4月28日~5月1日)

訪問都市:ワシントンDC、フェニックス、ソルトレイクシティ、サンフランシスコ

米国人教員来日(24名)

日時:平成25年6月19日~7月2日(合同会議6月28日~6月30日)

訪問都市:東京都、島根県大田市、熊本県水俣市



日本教職員中国派遣プログラム

中国教育部の招へいにより、平成25年6月22日~6月29日に北京市及び甘肅省蘭州市へ、日本の教職員等25名を派遣しました。この中には、ユネスコスクールに加盟又は関心を持つ学校から公募により選抜された教員も含まれていました。このプログラムでは中国教育部、甘肅省教育庁のほか、教育・文化施設や小・中・高等学校等を視察しました。視察を通して、中国における教育の現状と課題、訪問都市



の教育の特徴及び両国における教育課題の共通点と相違点について学ぶとともに、中国の教職員、児童生徒との交流を図る機会が得られました。また、中国教育部から中国の教育制度等の説明を受け、中国の教育の現状について理解を深めることができました。

日韓教職員交流

「韓国政府日本教職員招へいプログラム」として、日本の教職員等(ユネスコスクールに加盟、又は関心を持つ学校から公募により選抜された教職員も含む)50名を韓国に派遣します(平成25年8月22日～8月29日 訪問先:ソウル、忠清南道・江原道・仁川のいずれか)。

当プログラムでは、学校・教育施設訪問を通じて国際理解教育(EIU)や第7回ESD日韓教職員フォーラムに参加し、ESDを含む韓国の最新教育政策や現状への理解を深め、相互理解と友好を推進することを目的としています。また、韓国の教職員・児童生徒と交流を行い、世界遺産見学や家庭訪問を通じて韓国文化への理解を深めます。

その他の取組への支援

持続可能な開発のための教育(ESD)交流・協力信託基金

「国連の持続可能な開発のための教育の10年(DESD):2005～2014」の提案国として貢献するために、ユネスコに対して信託基金を拠出し、ユネスコ加盟国に対して教育関係者を対象にしたESDワークショップ、ESDの教材開発や普及啓発、モニタリング・評価等の事業を実施しています。

例えば、アジア・太平洋地域で広く主食として食べられている「お米」をテーマに、国内外のユネスコスクール間の交流事業を実施する「RICEプロジェクト」があります。このプロジェクトについては、17ページに記載があります。

アジア太平洋地域教育協力信託基金

アジア・太平洋地域における教育の充実と質の向上に貢献するため、ユネスコに対して信託基金を拠出し、ユネスコバンコクが中心となって、EFA(万人のための教育)目標達成に向けたCLC(コミュニティーラーニングセンター)支援事業などを実施しています。

例えば、平成25年6月19～21日に、アジア諸国を中心に世界30か国以上から各国政府、国際機関、教育関係者等過去最高の500人以上の参加があったCLC(コミュニティーラーニングセンター、日本の公民館に相当)地域会合の開催支援を行いました。



民間ユネスコ活動

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

・ 学校関連事業

守ろう地球のたからもの

学習教材「豊かな自然編」「豊かな世界遺産編」、絵本「サクラソウのひみつ」を希望する学校に寄贈し、ESDの普及に寄与しました。

平成 25 年 6 月 29 日、7 月 13 日に青森県内の世界遺産「白神山地」周辺地域で、ボランティア参加により、国有林伐採跡地の森の再生活動を行いました。

(協力:三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG))



三菱アジア子ども絵日記フェスタ

絵日記を通じた国際理解の促進を目的に、アジア 24 の国・地域の子どもたちから 70,899 作品の募集がありました。平成 25 年 2 月に開催した国内選考会で代表 8 作品を決定し、5 月に開催した国際選考会で各国・地域のグランプリ受賞者を決定しました。

(協力:三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA))

・ ユネスコスクール関連事業

三菱東京UFJ銀行の協力を得て、以下の事業を実施しています。

ユネスコスクールプレートの新規登録校への寄贈

ユネスコスクールへの活動助成

第 4 期「ユネスコスクールESDアシストプロジェクト」に 149 校から申請があり、119 校からの申請を採択しました。

第 3 回「ESD 国際交流プログラム」

平成 25 年 3 月 20~27 日にユネスコスクールから高校生 12 名と教員 1 名がドイツ及びフランスのユネスコスクール、ユネスコ本部等を訪問し、交流活動を行いました。



『ユネスコスクール 10 の質問・事例・資料集』を発行し、全国のユネスコ協会に無料配布しました。

「ユネスコ協会 ESD パスポート」

ユネスコスクールの児童・生徒のボランティア活動への参加促進のツールとして、ユネスコ協会を通して「ユネスコ協会 ESD パスポート」を配布します。そのキックオフ会議を平成 25 年度日本/ユネスコパートナーシップ事業として平成 25 年 6 月 23 日に東京で開催しました。

サイエンススクール

命と健康の大切さを学ぶ機会として、小学校対象の出前授業「サイエンススクール」をユネスコスクールを含む小学校4校で実施しました。
(協力: MSD 株式会社)

東日本大震災復興支援活動

MUFG-ユネスコ協会復興育英基金

三菱 UFJ フィナンシャル・グループの資金援助を得て、小学 1 年から高校 3 年までの遺児・孤児 1,231 名に奨学金を給付しています。

被災した小学校、中学校の花壇を再生するプログラムに三菱東京 UFJ 銀行、三菱 UFJ フィナンシャル・グループと協会連盟の役職員がボランティア参加しました。

- 4 月 20 日 亘理町立吉田中学校
- 4 月 27 日 宮古市立田老第一中学校
- 5 月 18 日 岩手県立宮古工業高校
- 6 月 8 日 南相馬市立鹿島小学校
- 6 月 15 日 福島県立いわき海星高校

ユネスコ協会就学支援奨学金

11 市町村(岩手県陸前高田市、釜石市、大槌町、宮城県気仙沼市、石巻市、南三陸町、東松島市、仙台市、名取市、女川町、福島県南相馬市)の奨学生 1,847 名に、奨学金を給付しています。平成 25 年 3 月には UNESCO 平和芸術家でバイオリニストの二村英仁氏によるチャリティコンサート、奨学生から寄せられたお手紙の展示会を都内で開催しました。また日本経済新聞(3月12日)、毎日新聞(3月31日)紙上に「東日本大震災子ども支援募金 ユネスコ協会就学支援奨学金」への募金協力を呼びかける新聞広告を掲載しました。今後も未支援市町村での奨学金給付を目指し、奨学金の原資となる募金の獲得を強化していく予定です。



コミュニティ再生支援

宮城県気仙沼市唐桑地区にて地域再生の核となるコミュニティ図書館を建設中、平成 25 年 7 月に完成する予定です。(協力: 日本テトラパック株式会社)

東日本大震災復興支援『こども絵画展』をニッセン HP 上で実施しており、14 自治体が参加しています。(協力: ニッセン株式会社)



世界寺子屋運動支援活動

アフガニスタン寺子屋プロジェクト

カブール、パルワン、バーミヤンの 13 地区で子ども向けの基礎教育クラス、成人向けの識字教育・収入向上支援を実施。バーミヤン州で CLC2 棟を拠点に活動しています。また、カブール市では、13 地区の寺子屋は 7 月に完成予定です。

アフガニスタン難民子ども支援としてダルレアマン難民キャンプ



およびデワンベギの子どもたち計 200 人以上に食糧や越冬に必要な毛布や服などを支援しました。
〔協力: 認定 NPO 法人ジャパンプラットフォーム〕

アンコール寺子屋プロジェクト

シムリアップ州内 9 地域の寺子屋で識字教育、中途退学した子どもたちへの復学クラス及び収入向上活動を実施。自転車や通学バッグ、給食サービスも提供しました。同州内で寺子屋 2 軒が完成し、計 11 軒になりました。6 月に行われた寺子屋開所式にはイム・セッティ教育大臣が臨席され、1000 名を超える村人が参加、国内で大きく報道されました。



ネパール寺子屋プロジェクト

南部ルンビニの 12 地域およびカトマンズの 4 地域で寺子屋 16 軒を運営しています。また、学校に行けない子どもたちのための小学校クラスと女性のための識字クラスを実施。ネパール政府が実施する識字キャンペーンに協力し、ルンビニで識字クラスを拡大展開中です。

ラオス・ルアンパバン寺子屋プロジェクト

ルアンパバン県の 4 郡 12 村で寺子屋運営を支援。織物技術訓練は、地元市場の需要もあり、女性たちの収入向上に貢献しています。ハポワン寺子屋に新しい寺子屋が完成しました。平成 25 年 3 月からは教育省がプロジェクトをフォローアップし、寺子屋のクラスを継続しています。

「書ききそんじハガキ・キャンペーン 2013」

全国から 154 ユネスコ協会が参加しました。地域のマスコミで取材を受け、大きな反響があり、回収実績が 8 倍以上になったユネスコ協会もあるなど効果があり、約 1,260 万円分の未使用切手とハガキが集まりました。フェイスブックでは 1,279 人が「いいね」、1,697 人が情報をシェアしてくれています。

南三陸の森 希望のポストプロジェクト

被災地・南三陸の森の間伐材でつくった「書ききそんじハガキ回収ポスト」を全国に広げていく「南三陸の森 希望のポストプロジェクト」を立ち上げ、多くの企業・団体から賛同を得て全国 100 ヶ所に設置を目指しています。第一号は、日本ユネスコ国内委員会に寄贈しました。

〔協力: 株式会社電通〕



カンボジア・スタディツアー

平成 25 年 3 月 3～9 日に JTB 中部 100 周年記念事業(世界遺産活動体験)で愛知、岐阜、三重、静岡、福井、石川、富山、長野の大学生が参加しました。〔協力: JTB 中部〕

以下のスタディツアーではユネスコ協会の会員や学生が世界寺子屋運動の支援先や世界遺産アンコールを視察し、カンボジアの歴史や文化について学び、参加者がユネスコ運動を实践するためのよい経験となりました。

2 月 5～13 日<文京学院大学>

2 月 5～10 日<日光ユネスコ協会>

2 月 18～23 日 <名古屋ユネスコ協会>

3 月 15～20 日<慶応義塾大学ユネスコクラブ>

3 月 6～10 日、3 月 20～24 日、3 月 27～31 日<一般>

〔協力: H.I.S.〕

一杯のスプーン支援活動

アフガニスタン・カブール市内で母子を対象に医療支援・栄養補助食品を配布。年間 8,600 人以上が利用しています。

ネパール・ルンビニの寺子屋 12 軒で母子を対象に 3 ヶ月に 1 度の巡回医療診断および栄養補助食品を配布しています。

世界遺産・地域遺産支援活動

カンボジア・アンコール遺跡彫像修復プロジェクト
世界遺産「アンコール」遺跡のひとつであるバイヨン寺院のナーガ像やシンハ像の修復活動を支援するために個人・企業から募金を呼びかけています。

フィリピン伝統的知識継承プロジェクト
本事業を含む保全活動が評価されたこともあり、第 36 回世界遺産委員会で「コルディリエーラの棚田群」が危機遺産リストからの解除が決定。イフガオ国立大学の一般教養カリキュラムに「棚田の保全方法について」の授業が組み込まれ、また遺産保全にかかる伝統的知識を学校教育に組み入れるカリキュラムが作成されました。



平成 25 年 1 月、『世界遺産年報 2013』を発行しました。「世界遺産条約採択 40 周年を振り返って」を特集し、新規登録の世界遺産、世界遺産委員会報告などを掲載。全国の図書館等へ寄贈し、書店で販売しています。
(助成:財団法人日本宝くじ協会。)

未来遺産運動

A) 第 4 回 プロジェクト未来遺産

長い歴史を超えて人々が守り続けてきた文化遺産や、自然とともに生きる知恵や工夫の中できりあげてきた自然遺産という豊かな贈り物を未来に伝えていこうという人々を応援。平成 24 年 11 月に開催された未来遺産委員会にて、以下の 9 プロジェクトの登録が決定しました。第 4 回プロジェクト未来遺産の登録証伝達式は平成 25 年 1 月より各地で行われました。4 月 15 日から第 5 回 プロジェクト未来遺産の募集を開始しました。締切は 7 月 15 日です。



プロジェクト名	団体名	場所
「月浜のえんずのわり」を未来につなげよう	えんずのわり保存会	宮城県東松島市
新津丘陵の自然・森林・歴史遺産の保全・整備プロジェクト	NPO 法人 にいがた森林(もり)の仲間(とも)の会	新潟県新潟市

水戸の歴史資産“偕楽園と弘道館”の魅力を子どもたちに伝える活動	偕楽園公園を愛する市民の会	茨城県水戸市
越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ	水辺と生き物を守る農家と市民の会	福井県越前市
みんなの手で守り、未来に伝える！日本の原風景『丸山千枚田』	丸山千枚田保存会	三重県熊野市
銀の馬車道プロジェクト～日本初の高速産業道路を未来につなぐ～	銀の馬車道ネットワーク協議会	兵庫県姫路市 他
いやしの里深野を目指して。希少になったササユリ保護・増殖活動	深野ササユリ保存会	奈良県宇陀市
笑い講とお笑い講で世界中に笑いを広める運動	一般社団法人防府市観光協会	山口県防府市
鬼と炎が舞う長岩屋修正鬼会(ながいわやしゅじょうおにえ)	長岩屋修正鬼会保存会	大分県豊後高田市

B) 私のまちのたからものコンテスト(スライドショー)

全国の小・中・高等学校を対象に、児童・生徒の郷土愛を育むことを目的とし、デジタル写真にナレーションや音楽をつけたスライドショー作品を募集。応募 67 作品から受賞作品 6 点を選出、3 月 26 日に東京都千代田区にて表彰式を行いました。

なお、「株式会社タクシーちゃんねる」の広報協力を受け、タクシーに搭載された小型テレビにて、プロジェクト未来遺産ならびに本コンテストの受賞作品を使ったコマーシャルが上映されています。

1. 日本ユネスコ協会連盟賞(最優秀賞)

奈良県奈良市立興東中学校 1 年『大柳生の伝統～太鼓踊りへの熱い思い～』

2. D-project 賞(優秀賞)

奈良県奈良市立椿井小学校 6 年『漢国(かんごう)神社』

3. あいおいニッセイ同和損害保険株式会社賞(優秀賞)

北海道札幌平岸高等学校 1 年『鯨(ニシン)漁が作った歴史』

4. チャレンジ賞(音声なし部門)

富山県富山市立五福小学校 3 年『みんなのたから 見つけたよ』

5. 個人部門最優秀賞

秋田県横手市立朝倉小学校 6 年『わたしのまち 横手のたからもの』

6. 個人部門優秀賞

奈良県奈良市立月ヶ瀬中学校 3 年『僕のまちの宝物』



民間ユネスコ運動の振興

2013 年度 青少年ユネスコ活動助成

以下の 50 事業に対して助成を行いました。

- 1)「わたしの町のたからもの」絵画展事業(29)
- 2)構成団体に所属する青年が様々な社会的課題の解決にボランティアとして貢献できる事業(10)
- 3)ユネスコスクールや学校内ユネスコ活動と地域ユネスコ協会の連携強化に資する事業(10)
- 4)ユネスコ子どもキャンプ(1)

ブロック別ユネスコ活動研究会を四国ブロックで開催、「民間ユネスコ運動の今後の発展に向けて」について協議を重ね、会員の研鑽を深めました。

ユネスコとの連携事業

KIZUNA 強化プロジェクト「カナダ」

東日本大震災復興支援のための日本政府の施策の一環として日本の被災地とカナダの高校生各4地域から合計100人の交流事業を実施しました。その第二陣として、平成25年3月1～13日にブリティッシュコロンビア州ウェスト・バンクーバー高校から27人、オンタリオ州マルバーン高校から22人が来日し、被災地約1週間、その他の地域に1週間、厚木ユネスコ協会、目黒ユネスコ協会の協力でホームステイや学校交流を行いました。外務省の拠出先であるユネスコからの受託事業。招聘は日本ユネスコ協会連盟と財団法人日本国際協力センター、日本の被災地の高校生4校100人の派遣については、日ユ協連が協力し、平成25年3月15～28日カナダ・ユネスコ国内委員会が実施しました。



KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow- カナダとの高校生交流事業

日本経済の再生に向けて、我が国への潜在的な関心を増進させ、日本を訪れる外国人の増加を図ると共に、クールジャパンを含めた日本の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目指す外務省拠出プロジェクトの一環としてカナダの高校生との交流事業を受託しました。平成25年度中にカナダ4地域から25人8グループの200人を招聘すると同時に、日本からも8グループ200人がカナダに派遣される予定です。

第一陣は5月8～17日にブリティッシュコロンビア州ニュー・ウェスト・ミンスター高校から25人が来日し、国内の企業や世界遺産地域の訪問の他、羽衣学園高等学校(大阪市)と交流しました。第2陣は、5月22～30日にアルバータ州ポール・ケイン高校、ジョージ・マクドゥーガル高校から各25人、合計50人が来日し、高水高等学校(岩国市)、帝塚山学院泉ヶ丘高等学校(大阪市)などと交流活動を行いました。

普及広報活動



日ユ協連ホームページにて活動ニュースやブログなどで情報を定期的に発信しています。

平成24年5月末にフェイスブックを開設し、世界寺子屋運動、世界遺産、東日本大震災の支援地の情報、トピックなどをいち早く発信しています。登録者は、平成25年6月末時点で1,367名。

<http://www.facebook.com/unesco.or.jp>

機関誌「ユネスコ」4月号を発行しました。
ユネスコ情報マガジン(メール配信)第179～185号を発行しました。

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

人をつなぎ、知をはぐくみ、未来をひらく

ACCU はアジア太平洋地域の人々と共に学びの輪を広げます

<すべての人に教育を、すべての人に笑顔を>

ユネスコの推進する EFA (Education for All、万人のための教育) の目標を達成するために…

母子保健をテーマにした識字教育支援プロジェクトを推進しています



「読み書きを学び、子どもに勉強を教え続けたい。自分がモデルとなり、子どもが学校に通うように励ましたい。」「自分の子どもの名前を書けるようになりたい。栄養のある食べ物など、子どもをどのように育てるかを学びたい。」「自分や子どもの名前を書けるようになりたい」「自分がモデルになり、子どもが学校に通うように励ましたい」そんな思いを胸に、小さな子どもたちを育てるカンボジアのお母さんたちは、SMILE Asia プロジェクトの識字教室に通っています。

SMILE Asia プロジェクトは ACCU がアジアで推進する母子保健をテーマにした識字教育支援プロジェクトです。これまでにアジアの6か国で展開し、現在はカンボジアで実施しています。女性の関心の高い母子保健をテーマにし、家庭でも子どもと一緒に活用できる教材を提供することで、クラスを卒業した後も日常生活で、識字能力を使い続ける環境を現地の団体と一緒に作っています。

今年度のプロジェクトは凸版印刷株式会社、株式会社三井住友銀行社員有志、東京小石川ロータリークラブ、個人の皆さまからのご寄附により行っています。

口座名	ACCU アジアの女性識字振興基金
口座番号	00120-7-365298(ゆうちょ銀行)

ピアニストの西村美穂さんはファンドレイジングサイト「JustGiving」にて、寄附を呼びかけてくださっています。<http://justgiving.jp/c/8600>

このプロジェクトは平成24年にユネスコが発行した成人女性の識字と女子中等教育推進のための提言レポートの中で、好事例として紹介されました。

<http://unesdoc.unesco.org/images/0021/002184/218450e.pdf>

アフガニスタン国識字教育強化プロジェクトへ職員を派遣しています

JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施しているアフガニスタン国識字教育強化プロジェクトに職員を派遣し、アフガニスタン教育省識字局とともに、同国識字局のモニタリング・技術支援能力の強化に関わる活動を行っています。

世界の識字状況を知ってもらうためにデータを公開し、会議を開催しています

国際識字デーイベントの実施

9月8日はユネスコが定めた国際識字デーです。”識字”について関心を持ってもらえるように日本ユネスコ協会連盟、シャンティ国際ボランティア会と共にイベントを行っています。今年は日本とカンボジアの外交関係樹立60周年ということから、各団体がカンボジアで行っている取組みをクイズを交えて報告しました(平成25年9月6日)。会場は趣旨に賛同された株式会社内田洋行に「東京ユビキタス協創広場 CANVAS」を提供していただきました。

ユネスコスクール等での出前授業実施

日本の中で生活していると非識字社会がどういうものなのか、想像することが難しいかもしれません。30年以上にわたり、アジアの途上国の識字事業に携わる者の立場から、識字の重要性を分かりやすく説明するために ACCU が制作したアニメーション教材「ミナ笑顔」(日・英を含む37言語版 DVD)を使い、「識字能力の意味すること」「非識字と貧困」を説明するだけでなく、「学ぶ大切さ」など、自分の生活とのつながりを考えてもらう出前授業を行います。

この授業案は主にユネスコスクールで指導する先生方と一緒に作りました。

<人をつなげる、未来をつなげる>

ユネスコの精神を実現する学校のネットワークの拡大と充実のために・・・

ユネスコスクールを応援しています

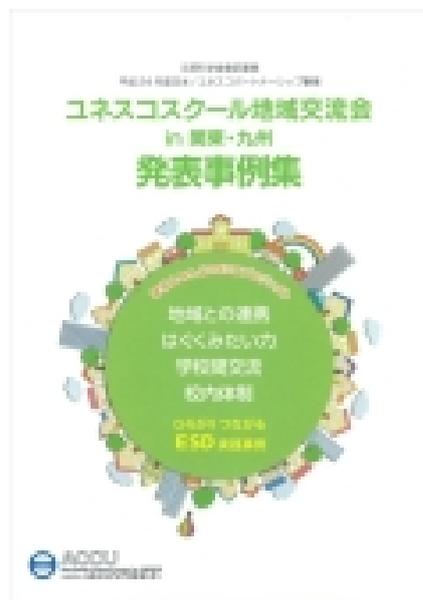
文部科学省の委託を受け、事務局としてユネスコスクール間および地域拠点間ネットワーク強化のために、「ユネスコスクール地域交流会」*を実施しています。今年度は広島県教育委員会との共催で、広島市で開催予定です。

地域交流会では先進的な持続可能な開発のための教育(ESD)活動を行っている事例をはじめ、日本各地で実施されている様々なユネスコスクール活動の共有を図り、その発表内容をもとに、ESD 実践事例集を制作しています。過去に制作したものも含めて、全てユネスコスクール公式ウェブサイトでご覧いただけます。

その他、ユネスコスクール公式ウェブサイトを運営し、ユネスコスクール加盟を検討している学校の相談窓口となり、また申請の事務手続きのサポートを行っています。

<http://www.unesco-school.jp/>

*ユネスコスクール地域交流会はこれまでに、ユネスコスクールの先進地でもある石川県金沢市、宮城県気仙沼市、東京都多摩市、福岡県大牟田市で実施。



持続可能な開発のための教育(ESD)を推進しています

「国連 ESD の 10 年」の最終年である平成 26 年(2014 年)がまもなくやってきます。2014 年には、国連 ESD の 10 年の活動を総括し、その後の発展を議論するための「ESD に関するユネスコスクール世界会議」が愛知県名古屋市で、また各種ステークホルダー会合が岡山市で開催されます。ACCU

では 2014 年の世界的な会議の準備の協力のほか、ユネスコスクールをはじめとする学校の内で、また、学校の外で、2014 年以降も ESD を普及・推進するために、教材を紹介したり、要望に応じて講師を派遣するほか、以下のようなさまざまな活動を行っています。

国際プロジェクト / ESD Rice プロジェクトの実施



お米とそれを取り巻く状況は、農業のみならず、生物多様性や気候変動、食の安全、経済、文化など多彩な切り口が考えられ、持続可能な開発のための教育(ESD)の豊かな題材です。お米を共通のテーマに、アジアのユネスコスクール間の国際交流とネットワーク作りを進め、学校と地域が連携した ESD の推進を目指しています。昨年度は日本、韓国、タイ、フィリピン 4 か国 26 校が参加したパイロットプロジェクトを実施しました。今年度はさらに参加国を増やし、プロジェクトを

実施します。

参加学校の取組みはウェブサイト、ガイドブック(日本語・英語)にまとめています。

ESD Rice ウェブサイト <http://www.esdriceproject.com/>

日本政府信託基金のもと、ユネスコの委託により本事業を実施

公民館とアジアの CLC(コミュニティ学習センター)の交流

2014 年に開催される「ESD に関するユネスコスクール世界会議」ステークホルダー会合の一環として「公民館・CLC 会議」が岡山市で開催されます。コミュニティーを舞台とする人づくりについてさまざまな議論が行われる予定であり、ACCU も準備に協力しています。

岡山市の委託により本事業を実施

この 2014 年の「公民館・CLC 会議」のプレ会議として、今年 10 月にはコミュニティーと学校の連携について、社会教育の役割に焦点をあてる国際ワークショップ「ESD 推進のためのノンフォーマル教育・学校教育の連携：アジア太平洋地域におけるコミュニティーと学校のパートナーシップによる ESD 実践のための専門家ワークショップ」を岡山市との共催で開催します。

平成 25 年文科省 ODA ユネスコ活動費補助事業により本事業を実施

ESD をテーマにした教職員の国際交流

-韓国、中国に日本人教職員を派遣しました

日韓、日中間で初等中等教職員交流プログラムを実施しています。平成 25 年 1 月に実施した韓国教職員招へいプログラムを受け、韓国ユネスコ国内委員会協力のもと、「韓国政府日本教職員招へいプログラム」を実施しました(平成 25 年 8 月 22 日～29 日)。

訪韓に先立ち 7 月にオリエンテーションを実施し、韓国の教育について学び、発表や交換授業の計画を練るなど、訪問の準備を整えました。派遣された日本教職員はソウルのほか、忠清北道または江原道を訪問し、学校訪問等により韓国での ESD の実践事例を視察しました。

ソウルでは、ESD 日韓教員フォーラムにも参加して、意見交換、交流を進めるなど、両国の友好促進、ESD の更なる推進を目指しています。



昨年度中国側の申し出により延期されていた中国教職員招へいプログラムが実施されることになりました。これに先立ち、中国教育部協力のもと、「中国政府日本教職員招へいプログラム」を実施しました。

このプログラムでは、25名の日本人教職員等が北京市と甘肅省蘭州市の学校や文化施設を訪問し、児童との交流、両国の教職員相互の意見交換などを通して、両国の相互理解と友好を推進しました。
(平成 25 年 6 月 23 日～29 日)

国際連合大学からの委託を受け、本事業を実施

-日米教員交流を実施しました

日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)の委託により、日本側運営団体として「ESD 日米教員交流プログラム」を行いました。

このプログラムは、選抜された日米の教員が相互に約 2 週間相手国を訪問し、交流を行うことで日米の教育交流と ESD の推進を図ります。学校訪問、児童生徒との交流、教育関連施設視察、ホームステイ等を通じて、お互いの文化を知ると共に、日米両国で協力して、教材制作、研究活動、授業等の計画を立てるために、日本の教員が米国を訪問した 4 月には米国の教員がサンフランシスコに参集し、また米国の教員が日本を訪問した 6 月には日本の教員が東京に参集して、それぞれ 3 日間の合同会議が開催されました。この会議には過去の参加者の一部も事例発表者として参加し、年度を越えた交流も図っています。

4 月 20 日から 5 月 3 日にかけて 24 名の日本の教員を米国へ派遣したのち、6 月には、24 名の米国の教員を招へいしました。24 名は、東京都のほか、島根県大田市または熊本県水俣市に滞在し、学校訪問を中心に、日本の ESD の実践を学び、交流活動を行い、その後の合同会議へつなぎ、内容を深めました。(平成 25 年 6 月 19 日～7 月 2 日)

次世代のグローバルリーダーを応援しています(高校模擬国連事業)

支援企業からのご寄附を得て、次世代の国際人/グローバルなリーダーを育成することを目的にグローバル・クラスルーム日本委員会と協力し、高校模擬国連事業を実施しています。

昨年開催された第 6 回全日本高校模擬国連大会で優秀な成績を収めた 6 チームを米国ニューヨーク市で開催されたグローバル・クラスルーム高校模擬国連国際大会に派遣しました。本大会の開会式、閉会式は国連本部で開催されました。

同時に、11 月に開催される第 7 回全日本高校模擬国連大会に向けて、広く高校生に参加を呼びかけています。

このプログラムは英語によるプレゼンテーション能力はもとより、交渉を通じてより良い解決策をさぐるなど課題に対する総合的な処理能力を鍛えること、交流を通じてコミュニケーション力を高めることを通じてグローバルな社会を担う未来のリーダーを育てることを目的としています。



<共にひきつぐ、文化と伝統>

奈良にある文化遺産保護協力事務所(ACCU 奈良事務所)では、ユネスコや ICCROM(文化財保存修復研究国際センター)など国際機関と連携して、専門家育成のための研修、文化遺産保護に関する情報発信などを行っています。



文化遺産保護の大切さを知ってもらうために・・・

奈良県内の6校の高校で日本や諸外国の世界遺産を題材に「世界遺産教室」を開催しました。世界遺産を通じ、文化遺産保護の重要性を楽しく学んでいただきたいという思いで平成17年から毎年行っています。(平成25年4月23日、5月14日、6月6日、6月10日、9月10日、9月12日)。

奈良県・奈良市補助金により、本事業を実施

文化財の保存修復を担う人材育成のために・・・

保護・保存対策が重要課題となっているキリバス共和国から2名の専門家を招き、「遺跡の調査・保存と管理活用」をテーマに一か月にわたって個人研修を実施しました(2013年8月1日～8月26日)。

また、アジア太平洋地域16か国16名の専門家を招き、「木材建造物の保存と修復」をテーマに一か月にわたって集団研修を実施しています(平成25年9月3日～10月3日)。

文化庁からの委託により、本事業を実施

なお、過去に集団研修に参加したアジア太平洋の専門家に自国の文化財保護活動について報告してもらい、ACCU Nara International Correspondentとしてまとめています。ACCU 奈良事務所のウェブサイトからダウンロード可能です。これまでに11冊発行しています。

平成24年度の取り組みを文化遺産ニュース Vol.25 にまとめ、発行しました。

<東日本大震災募金活動>

ACCU は東日本大震災で被災された方々のお役にたてるよう、教育復興の支援に取り組んでいます。ACCUウェブサイト、ユネスコスクール公式ウェブサイトで広くご協力をよびかけ募金を集めています。募金は全額被災地の教育復興のために使っていただいています。

被災地で募金がどのように使われたか、そして、募金活動を継続する側の思いなどをインタビューし、ACCU ニュースやウェブサイトで報告しています。引き続き国内外に広く募金の継続を呼びかけ、長期的な支援をめざします。

東日本大震災ユネスコスクール ESD 支援募金

三菱東京 UFJ 銀行	ゆうちょ銀行
支店名: 神楽坂支店(店番号:052)	口座記号番号:00120-1-718642
口座番号:0057529 預金名:普通預金	口座名:公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
口座名:公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	

< ACCU 広報活動 >
ACCU ライブラリー



公益財団法人日本漢字能力検定協会からのご支援を得て、事業を通じて制作・収集したアジア太平洋の文化・教育に関する資料を一般公開しています。多文化共生・国際理解・持続可能な開発のための教育 (ESD) などの現場やイベントで、また研修資料として利用されています。アジアの国々の識字や教育に関心のある学生、研究者のほか、日本在住の外国籍の児童・生徒の母語教育教材を探している学校の図書室司書にも利用いただいています。

パンフレット、機関紙、ウェブサイト、Facebook を活用して、ACCU の活動内容、最新情報を伝えています。

【ウェブサイト】 <http://www.accu.or.jp>

【Facebook】 <http://www.facebook.com/accu.or.jp>

【奈良事務所ウェブサイト】 <http://www.nara.accu.or.jp/>



<日本ユネスコ国内委員会に関する参考資料>

1. 国際会議等一覧(教育関連)

会議等名称	開催日程 (開催地)	主な内容	我が国出席者
第 191 回ユネスコ執行委員会	25.4.10-25 (パリ)	58 執行委員国により、次期中期計画 / 事業・予算案等について審議した。	木曾ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、加藤国際統括官ほか
第 5 回 DESD 最終年 会合タスクフォース	25.4.23-24 (パリ)	2014 年「ESD に関するユネスコ世界会議」に向けて、会議の詳細について議論した。	岩本国際交渉分析官ほか
Regional Consultation to Support Planning for an ESD Programme Framework to follow the UN DESD in 2014	25.5.16-17 (バンコク)	DESD のフォローアップとしてのプログラムフレームワーク作成のため、アジア・太平洋地域の教育の現状等を議論した。	佐藤真久 東京都市大学准教授
2nd International Expert Working Group Meeting to Prepare the 1st Global Conference on Learning Cities	25.6.4-5 (韓国・済州島)	第一回ラーニングシティ・グローバル会議に向け専門家による現状等を議論した。	澤野由紀子聖心女子大学教授
JFIT(ESD 信託基金)レビュー会合	25.6.6 (パリ)	ESD 信託基金の昨年度及び今年度事業内容について議論した。	本村国際統括官補佐ほか
JFIT(アジア太平洋地域信託基金)レビュー会合	25.6.17 (バンコク)	同 上	本村国際統括官補佐
第 3 回国際ステアリンググループ(ISG)会合	25.7.23-24 (パリ)	2014 年「ESD に関するユネスコ世界会議」の討議テーマ、成果について議論した。	木曾ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、岩本国際交渉分析官ほか
第 6 回 DESD 最終年 会合タスクフォース	25.7.25 (パリ)	2014 年「ESD に関するユネスコ世界会議」に向けて、会議の詳細について議論した。	岩本国際交渉分析官ほか

2. 国内委員会会議

年月日	会議名	主な内容
25.2.13	第 132 回日本ユネスコ国内委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ユネスコ国内委員会の活動に関する報告について ・第 190 回ユネスコ執行委員会の結果について(報告) ・我が国におけるユネスコ活動の諸課題について ・韓国ユネスコ国内委員会の活動状況について (ミン韓国ユネスコ国内委員会事務総長) ・日本ユネスコ国内委員会運営規則の改正について ・国内委員会の構成について
25.5.9	第 129 回教育小委員会	・ユネスコスクールについて
25.7.11	第 5 回国連 ESD の 10	・ESD に関するユネスコ世界会議の成果及びグローバル

	年最終年會合に向けたワーキンググループ	アクションプログラムについて
25.7.18	第130回教育小委員会	・学校教育におけるESDの推進について
25.8.19	第131回教育小委員会	・社会教育・企業活動におけるESDの推進について ・ESDの理論的裏付けについて ・運営小委員会への報告(論点整理)について ・第37回ユネスコ総会への対応について ・日本ユネスコ国内委員会の活動に関する報告について

3. ユネスコスクール新規加盟校一覧

ユネスコスクール加盟状況(平成25年7月現在) 加盟校数:615校

(幼稚園14、小学校314、中学校142、中高一貫校等36、高校92、大学5、高等専門学校1、特別支援学校2、その他9)

平成25年4月23日付け承認(30校)

- ・小樽市立高島小学校(北海道小樽市)
- ・更別村立更別小学校(北海道更別村)
- ・足利市立東山小学校(栃木県足利市)
- ・稲城市立稲城第三小学校(東京都稲城市)
- ・多摩市立諏訪小学校(東京都多摩市)
- ・多摩市立西愛宕小学校(東京都多摩市)
- ・多摩市立東落合小学校(東京都多摩市)
- ・富士市立岩松北小学校(静岡県富士市)
- ・一宮市立中島小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立西成小学校(愛知県一宮市)
- ・岡崎市立細川小学校(愛知県岡崎市)
- ・岡崎市立六ツ美中部小学校(愛知県岡崎市)
- ・岡崎市立形埜小学校(愛知県岡崎市)
- ・刈谷市立富士松南小学校(愛知県刈谷市)
- ・名古屋市立笹島小学校(名古屋市)
- ・小浜市立内外海小学校(福井県小浜市)
- ・広島市立幟町小学校(広島市)
- ・尾道市立山波小学校(広島県尾道市)
- ・岩美町立岩美南小学校(鳥取県岩美町)
- ・岩美町立岩美北小学校(鳥取県岩美町)
- ・岩美町立岩美西小学校(鳥取県岩美町)
- ・多摩市立落合中学校(東京都多摩市)
- ・多摩市立多摩永山中学校(東京都多摩市)
- ・名古屋市立菊井中学校(名古屋市)
- ・名古屋市立前津中学校(名古屋市)
- ・阿久根市立大川中学校(鹿児島市阿久根市)
- ・北海道留辺蘂高等学校(北海道北見市)
- ・千葉黎明高等学校(千葉県八街市)
- ・京都外大西高等学校(京都市)
- ・広島県立賀茂高等学校(広島県東広島市)

平成25年6月5日付け承認(5校)

- ・豊橋市立幸小学校(愛知県豊橋市)
- ・豊橋市立羽根井小学校(愛知県豊橋市)
- ・豊橋市立松山小学校(愛知県豊橋市)
- ・豊橋市立大崎小学校(愛知県豊橋市)
- ・豊橋市立章南中学校(愛知県豊橋市)

平成25年7月5日付け承認(32校)

- ・一宮市立浅井北小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立朝日西小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立末広小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立千秋小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立葉栗小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立葉栗北小学校(愛知県一宮市)
- ・一宮市立宮西小学校(愛知県一宮市)
- ・愛知教育大学附属岡崎小学校(愛知県岡崎市)
- ・岡山市立伊島小学校(岡山市)
- ・岡山市立政田小学校(岡山市)
- ・熊野町立熊野第一小学校(広島県熊野町)
- ・熊野町立熊野第二小学校(広島県熊野町)
- ・熊野町立熊野第三小学校(広島県熊野町)
- ・熊野町立熊野第四小学校(広島県熊野町)
- ・北九州市立赤崎小学校(北九州市)
- ・北九州市立すがお小学校(北九州市)

- ・富山市立神通碧小学校(富山市)
- ・富山市立古沢小学校(富山市)
- ・大阪市立関目東小学校(大阪市)
- ・大阪市立高殿小学校(大阪市)
- ・岡山市立御南小学校(岡山市)
- ・岡山市立津島小学校(岡山市)
- ・岡山市立西小学校(岡山市)
- ・岡山市立宇野小学校(岡山市)
- ・一宮市立萩原中学校(愛知県一宮市)
- ・岡山市立操山中学校(岡山市)
- ・岡山市立御南中学校(岡山市)
- ・熊野町立熊野中学校(広島県熊野町)
- ・熊野町立熊野東中学校(広島県熊野町)
- ・北九州市立早鞆中学校(北九州市)
- ・京都市立紫野高等学校(京都市)
- ・愛媛県立新居浜東高等学校(愛媛県新居浜市)

4. 国内委員会委員人事

発令日	氏名	所属・職名
(新任) 25.3.1	小此木八郎 笠浩文	衆議院議員 衆議院議員
(退任) 25.7.28	鈴木 寛	参議院議員

5. 国内委員会事務局人事異動

発令日	氏名	異動後所属・職名	異動前所属・職名
24.4.1	本村宏明	文部科学省国際統括補佐	在インドネシア大使館一等書記官
24.4.15	初井圭子	文部科学省国際戦略企画官	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官

6. 日本/ユネスコ・パートナーシップ事業

(1) 平成 24 年度事業の実績

- ・平成 24 年度事業テーマ: 持続発展教育(ESD)の普及・促進のため DESD 最終年会合を見据えた活動の実施
- ・事業規模: 77 百万円
- ・平成 24 年 1 月 31 日～2 月 21 日の期間で公募(応募件数: 28)、同年 3 月 2 日に審査委員会を開催し、委託事業を決定した。(事業件数: 15)

ASPUnivNet 運営管理事業(国立大学法人奈良教育大学)

UnivNet によるユネスコスクール説明会、研修会開催(国立大学法人奈良教育大学)

ASPUnivNet によるユネスコスクールネットワークの推進交流事業の展開(国立大学法人奈良教育大学)

ASPUnivNet による高校生世界フォーラム準備セミナー / ASPUnivNet による ESD 子ども国際会議準備研修(国立大学法人奈良教育大学)

ASPUnivNet による最終年会合に向けてユネスコスクールの質の確保・向上のための北陸ユネスコスクール実態調査(国立大学法人奈良教育大学)

ユネスコスクール事務局運営及びユネスコスクール公式ウェブサイト管理運営(公益財団法人ユ

ネスコ・アジア文化センター)

ユネスコスクールネットワーク推進交流事業(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター)

第4回ユネスコスクール全国大会(特定非営利活動法人日本持続発展教育推進フォーラム)

世界遺産学習全国サミットの開催事業(奈良市)

○ESD・世界遺産学習の普及・推進事業(奈良市)

ユネスコスクールを支える地域づくりフォーラム(岡山市)

DESD 最終年会合及び持続発展教育(ESD)理解促進・広報事業(株式会社電通中部支社)

「ESDの10年・地球市民会議2012」(「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム)

アジア太平洋地域無形文化遺産保護活動の調査研究(独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター)

ESD 推進を通じた既存ユネスコエコパークの活性化と新規登録推進のための調査研究及び実践活動(国立大学法人横浜国立大学)

(2)平成25年度実施計画

・平成25年度事業テーマ:2014年「持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」に向けたESDの取組の実施

・事業規模:67百万円

・平成25年2月7日~2月28日の期間で公募(応募件数:18)、同年3月12日に審査委員会を開催し、委託事業を決定した。(事業件数:13)

ASPUnivNet 運営管理事業(国立大学法人岡山大学)

ユネスコスクール事務局運営及びユネスコスクール公式ウェブサイト運営管理(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU))

ユネスコスクール地域交流会 in 広島(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU))

「ESDに関するユネスコ世界会議『ユース・コンファレンス』」に向けた国内の若者によるプレ・コンファレンス(公益財団法人五井平和財団)

「ESDの10年・地球市民会議2013」(「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム)

ESDの普及促進を目的とした講演会「持続可能な地球と私のために」の実施(中部大学)

ESD ユネスコ世界会議及び持続発展教育(ESD)理解促進・広報事業(株式会社電通)

世界遺産学習全国サミットの開催を含むESD並びに世界遺産学習の普及・推進事業(奈良市)

ユネスコMAB計画におけるBiosphere Reserveを活用したESDの普及促進(国立大学法人横浜国立大学)

ユネスコスクール世界大会 Student(高校生)フォーラム岡山開催支援事業2013(岡山市)

ユネスコスクール世界大会プレ企画「2013年アジア・太平洋地域高校生ESDフォーラム in Sakai(堺)」(2013年度「準備セミナー」を含む)(公立大学法人大阪府立大学)

ユネスコスクール ESD ボランティア体験活動推進事業 キックオフ会議(公益社団法人日本ユネスコ協会連盟)

第5回ユネスコスクール全国大会 - 持続発展教育(ESD)研究大会(特定非営利活動法人日本持続発展教育推進フォーラム)

7. 政府開発援助ユネスコ活動費補助金

(1)平成24年度事業の実績

・事業規模:90百万円

・実施件数:11件

インドネシア・ニアス島の木造建造物群文化遺産の保存体制構築と修理技術協力(筑波大学)
フィリピン有形・無形文化遺産の先端デジタル技術従事者人材育成(京都大学)
ラオスにおける持続可能な発展のためのエネルギー科学教育の推進(京都大学)
アジア生物資源の持続的利用に向けた UNESCO 国際大学院研修講座ネットワーク強化と技術
基盤形成(大阪大学)
ブータン王国におけるユネスコ文化遺産関連条約の執行準備及び文化遺産保護法制整備の
発展的継続(九州大学)
発展途上国の農村部及び都市部における<ESD コミュニティ>の構築(聖心女子大学)
アジア・太平洋地域における公正とインクルージョンのための教育政策調査(早稲田大学)
「君もガリレオ！」プロジェクト(自然科学研究機構国立天文台)
WebELS を用いた環境・エネルギー工学国際連携 e-Learning プラットフォームの展開(情報・シ
ステム研究機構国立情報学研究所)
アジアのユネスコスクールの連帯と防災を考える、未来を担う子どもたちとコーディネーターのた
めの ESD リーダー養成ワークショップ(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター)
アジア地域を対象とする地すべり災害軽減のための教材開発 - 2006 年東京行動計画推進の
ための UNESCO - ICL 覚書の一環として - (特定非営利活動法人アイシーエル)
ミャンマーのデルタ地帯における防災教育能力向上支援事業(特定非営利活動法人 SEEDS
Asia)

(2)平成 25 年度実施計画

・ 事業規模: 82 百万円

平成 25 年 1 月 21 日～2 月 22 日の期間で公募を行い、5 月 15 日付けで交付決定を行った。(採
択件数: 10)

アジア 6 カ国の教育政策における「21 世紀型スキル」の比較分析と参加型教育政策データベー
スの構築(東京工業大学)

アジア太平洋地域の持続可能性に向けた水の安全保障に関する国際協力事業(京都大学)

カンボジアにおける持続可能な発展のためのエネルギー科学教育の推進(京都大学)

アジア生物資源の持続可能な利用に向けた UNESCO 国際大学院研修講座ネットワーク再構築
と基盤バイオ技術構築(大阪大学)

教育行財政のガイドブック作成-インドシナ諸国の基礎教育に焦点を当て-(神戸大学)

ブータン王国における有形文化遺産および無形文化遺産保護のための法整備支援事業(九州
大学)

消滅の危機に瀕したアジア太平洋地域における無形文化遺産保護に関する調査研究(独立行
政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター)

インクルーシブ教育の質向上に資するユネスコ及び教育省担当官能力開発事業(早稲田大学)

ESD 推進のためのノンフォーマル教育・学校教育の連携: アジア太平洋地域におけるコミュニ
ティと学校のパートナーシップによる ESD 実践のための専門家ワークショップの開催(公益財団法
人ユネスコ・アジア文化センター)

ミャンマーにおける ESD 推進のための防災教育支援事業(特定非営利活動法人 SEEDS Asia)

8. 日本ユネスコ国内委員会後援名義一覧

事業名	主催団体名	後援期間 (事業実施期間)
南アルプスフォーラム in やまなし	南アルプス世界自然遺産登録 山梨県連絡協議会	25.1.25 ~ 2.2 (25.2.2)
宮崎国際ジャズデイ	宮崎国際ジャズデイ実行委員 会	25.1.25 ~ 5.6 (25.4.23 ~ 5.6)
三鷹市・ケーブタウン市小中学校 「持続可能な開発教育(ESD)」協 カプロジェクト報告会	国際基督教大学	25.2.1 ~ 2.16 (25.2.16)
世界遺産の炭坑絵師 山本作兵衛 展	読売新聞東京本社	25.2.7 ~ 5.6 (25.3.16 ~ 5.6)
JAZZ AUDITORIA 2013	JAZZ AUDITORIA 2013 実行 委員会	25.2.7 ~ 4.30 (25.4.28 ~ 4.30)
第10回ぼうさい探検隊マップコンク ール	日本損害保険協会	25.2.27 ~ 26.1.下旬〔表 彰式終了まで〕 (25.4.1 ~ 26.1 下旬〔表彰 式終了まで〕)
The 26th UNESCO-APEID Hiroshima Seminar on Innovation and Reform in Teacher Education in Asia-Pacific Region	広島大学ユネスコ・アペイド事 業委員会委員長	25.3.11 ~ 4.7 (25.4.5 ~ 4.7)
未来遺産運動	公益社団法人日本ユネスコ協 会連盟	25.3.29 ~ 26.3.31 (25.4.15 ~ 26.3.31)
第25回 MOA 美術館児童作品展	財団法人エム・オー・エー美 術・文化財団	25.3.21 ~ 26.3.31 (25.4.10 ~ 26.3.31)
PIECE OF PEACE 「レゴブロック」 で作った世界遺産展 Part.3	PIECE OF PEACE 実行委員会	25.3.29 ~ 26.3.31 (25.4.6 ~ 4.22、25.4.27 ~ 5.13)
守ろう地球のたからもの	公益社団法人日本ユネスコ協 会連盟	25.4.25 ~ 26.3.31 (25.4.25 ~ 26.3.31)
第69回日本ユネスコ運動全国大会	公益社団法人日本ユネスコ協 会連盟	25.5.15 ~ 9.15 (25.9.14 ~ 9.15)
国際農学 ESD シンポジウム 2013 (Ag-ESD Symposium 2013)	国立大学法人筑波大学	25.6.3 ~ 11.29 (25.11.25 ~ 29)
ESD-J 全国ミーティング 2013in 岡山 「未来をつなぐ」を現場で学ぶ ~ 2014 年の ESD ユネスコ世界会議と 2015 年以降の ESD の推進に向け て~	認定特定非営利法人持続可能 な開発のための教育の10年推 進会議	25.6.3 ~ 25.6.16 (25.6.15 ~ 6.16)
第60回国際理解・国際協力のため の高校生的主張コンクール	公益財団法人日本国際連合協 会	25.6.11 ~ 25.10.21 (25.4.1 ~ 10.21)
第53回国際理解・国際協力のため の全国中学生作文コンテスト	公益財団法人日本国際連合協 会	25.6.11 ~ 25.10.24 (25.4.1 ~ 10.24)

「地球っ子広場」活動事業	公益財団法人五井平和財団	25.6.11 ~ 26.3.31 (25.4.1 ~ 26.3.31)
第 45 回ユネスコ子どもキャンプ	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	25.7.2 ~ 8.6 (25.8.3 ~ 8.6)
第 34 回世界健康フォーラム 2013	NPO 法人世界健康フロンティア研究会	25.7.9 ~ 11.7 (25.11.7)
Kids' ISO 14000 プログラム	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	25.7.19 ~ 26.2.15 (25.9.12、26.2.15)
第 47 回北海道ユネスコ大会 in 帯広・2013 年度北海道ブロック・ユネスコ活動研究会	北海道ユネスコ連絡協議会	25.7.24 ~ 10.20 (25.10.19 ~ 20)
第 4 回千葉県ユネスコスクール研究会 - 第 3 回千葉県高等学校ユネスコスクール研究会 -	千葉県ユネスコ協会連絡協議会	25.8.1 ~ 8.26 (25.8.26)
富士の国やまなし子ども絵画コンクール	甲府ユネスコ協会	25.7.25 ~ 712.21 (25.7.1 ~ 9.20、 25.12.15 ~ 12.21)
無形文化遺産条約採択 10 周年記念シンポジウム	独立行政法人国立文化財機構 アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長	25.7.25 ~ 8.3 (25.8.3)
PIECE OF PEACE - 『レゴブロック』で作った世界遺産 part.3 (於: 埼玉、岩手、広島)	PIECE OF PEACE 実行委員会	25.5.18 ~ 11.4 (25.5.18 ~ 6.3、25.9.7 ~ 9.29、25.10.10 ~ 11.4)